

南会津 のうりんニュース



今月の写真：茜空を迎える時(南郷地域木伏)

鮮やかだった紅葉も終わりを迎え、南会津の自然も徐々に冬支度を始めつつあります。朝晩のキーンと張った空気も、白い息も、季節の移り変わりを感じさせてくれます。晩秋の南会津に思いを馳せる今日この頃です。

今月の内容：

- 今月のトピックス
 - ・ 山から海へ ～南会津の観光PR大作戦～
 - ・ 待ちに待ったお米の収穫!!
 - ・ 農業普及指導活動外部評価懇談会が開催される!!
 - ・ 第6回うつくしま育樹祭開催!!
- 特集
 - ・ 小規模・高齢化集落支援モデル事業!!
- 直売所紹介
 - ・ 緑風爽やかな高原の里「十文字夢街道」
- コラム
 - ・ 晴耕雨読
- 農林事務所からのお知らせ
 - ・ 食彩ふくしま産地消推進店の認定について

平成20年11月10日発行 福島県南会津農林事務所

今月のトピックス



大好評の南会津の特産物

山から海へ

～南会津の観光PR大作戦～

念願だった国道289号甲子道路が開通し、早くも2ヶ月。週末には紅葉狩り等を目的に多くの観光客が南会津を訪れるようになりました。南会津側では多くの団体が、増加する観光客を迎えるため様々な取り組みを行っています。その1つとして、いわき市小名浜にある「小名浜さんかく倉庫2号交流館」にて、「国道289号甲子道路開通記念南会津観光物産展」が各町村や商工会を中心として行われました。

グリーン・ツーリズム推進会議では、南会津の農業体験等の広報活動を行ったほか、木工クラフト、落ち葉のしおり作り、プラスチック板のキーホルダー作り等の体験コーナーを実施しました。

体験コーナーでは、みんな思い思いの作品を一生懸命作り、両親に誇らしげに見せたり、「お母さんにプレゼントするの♪」と感心なお子さんもいらっしゃいました。2日間に渡り来場いただいた方もおり、買い物袋片手に親子で木工クラフトを楽しむなど、大変好評を得ました。

また、観光交流に関するアンケートを実施した結果、南会津や農業体験に関心を持っている方が非常に多く、クライנגルテン(滞在型市民農園)の認知度の高さや、郡内で力を入れている農家民宿への問い合わせがあり、南会津のグリーン・ツーリズムに対する関心が予想以上に大きいことが感じられました。平成22年度開設が予定されている下郷町のクライングルテン等を利用し、周遊から二地域居住へと、南会津との交流が活性化されることが期待されます。

各団体では、物産の販売を主に行いましたが、南会津の「お酒」や「イワナ味噌」、「エゴマの葉っぱ味噌」を始めとした南会津の地場産品がとても好評でした。お客様からは「こんなに色々な物があって凄い!! 初めて見る品だ!!」との御感想をいただき、来場されたいわき市民を中心に県内外の方々へ南会津の特産品をアピールすることが出来ました。

また、長蛇の列となった南郷のソバは、南会津が有数のソバの名産地であることを証明し、今後、ソバを目当てに南会津を訪れる観光客の増加へと繋がると思われます。

(2ページに続く)



親子で楽しんだ木工クラフト

(1ページから続く)

南会津地方が一体となった今回の取り組みを通して、更なる交流人口の増加へと繋がっていくことが期待されます。

(企画部・農業振興普及部・森林林業部)

🌿 待ちに待ったお米の収穫!!

平成20年10月9日、南会津町立田島第二小学校の学習田において、黄金色に実った稲穂を全校児童で刈り取りました。稲刈りは地元の方が先生となって、手鎌の使い方や稲束の結び方を教わり、6年生がリーダーとなり下級生と協力しながら行われました。刈り取った稲束は低学年の児童が運び、木の棒を縄で組んだ「はぜ」に掛けて天日乾燥しました。



稲刈りをする児童

10月23日には、5年生が自然乾燥させた稲の脱穀を行いました。児童は、こきはし、千歯扱き、足踏み脱穀機、コンバインと様々な方法で脱穀を体験しました。足踏み脱穀機では、最初は回転が合わず戸惑っていましたが、慣れてくるとテンポ良く作業が進みました。最後はコンバインであつという間に脱穀される様子に児童たちは感心しきりでした。収穫されたお米は学校給食で提供され、みんなで味わう予定です。

(企画部・農業振興普及部・農村整備部)



脱穀を終えた田島二小の5年生

🌿 農業普及指導活動

外部評価懇談会が開催される!!

➤ の度、南会津農林事務所の農業普及指導活動外部評価懇談会委員に5名の方が委嘱され、去る9月24日に、現地調査が行われました。

この外部評価懇談会は、当農林事務所農業振興普及部の普及指導員が行う業務(農業普及指導活動の内容と成果)を客観的に評価し、その指摘・助言等を踏まえ、以後の農業普及指導活動を効果的かつ効率的に展開することを目的として、年2回(夏期の現地調

査と年度末の評価検討)開催されます。

今回は、農業者のほ場を訪ね、直に農業者と情報交換をすることにより、日ごろの普及指導員の活動や農業者の経営について理解を深めていただきました。



現地調査をする新委員の皆さん

南会津農林事務所農業普及指導活動 外部評価懇談会委員 (敬称略)

会長	小 椋 時 雄 (南会津町伊南地域)
委員	星 高 (南会津町田島地域)
	斎 藤 直 (南会津町南郷地域)
	室 井 伸 子 (下 郷 町)
	目 黒 典 子 (只 見 町)

(農業振興普及部)

🌿 第6回うつくしま育樹祭開催!!

10月4日、下郷町観音沼森林公園及び近くの下郷町有林において、うつくしま育樹祭実行委員会主催による「第6回うつくしま育樹祭」が開催され、県内各地から親子連れを含む約270名が参加しました。

この育樹祭は、県民一人ひとりが森林づくりに参画することを目的として、平成15年度から実施され、今年で6回目を迎えるものです。

開会式では、佐藤雄平知事による「森林の大切さを共感しながら育樹作業をいましょう」とのあいさつの後、湯田雄二下郷町長より歓迎のあいさつと、観音沼森林公園の紹介をいただきました。

15班に分かれた参加者は、グリーンフォレスターや林業技士会のメンバーから指導を受け、観音沼森林公園では広葉樹林の*抜き伐りを行い、また、町有林では平成11年に南会津地方植樹祭で植樹されたスギ・ヒノキ林の裾枝払いを行い、森林の手入れの大切さを学びました。

昼食の時間には、地元南倉沢地区の方々による「つゆもち」や「しんごろう」等の販売が行われ、地元の伝統の味を楽しみました。

午後からは、もりの案内人の指導による公園内の自然観察や木工クラフトが行われ、自然観察では、育樹活動によりきれいになった森林の働き等について学び、木工クラフトでは、小枝などを利用した小物を作る等、爽やかな秋晴れの下、楽しい時間を過ごしました。

(森林林業部)



森林の手入れ体験をする参加者

*抜き伐り(ぬきぎり)…優良木の生育を促進するために、弱っている木や枯れた木等を間引くこと

小規模・高齢化集落支援モデル事業!!

去る10月18日、19日、下郷町戸赤地区で小規模・高齢化集落支援モデル事業を実施しました。戸赤地区での実施は、全国初の取り組みとなった柳津町に次いで県内で2番目。全国でも4番目の地区となります。

この事業は、近年の農山村地域の過疎化・高齢化の進展に伴い、集落機能が低下することによって起こり得る災害等の発生を防止するため、中山間地域等直接支払事業を実施している協定集落の人々が、高齢化率(販売農家人口のうち65歳以上の人口が占める割合)が50%以上の特定集落に農地や水路等の保全活動を支援する事業です。

また、第3期中山間地域等直接支払の追加項目として検討されている事業でもあります。

戸赤地区では6月にこの事業について説明会を実施しました。その後、取り組み内容や日程について



綺麗に整備された様子

調整し、9月に協定集落と特定集落とで「戸赤の農地を守る協議会」を設立しました。

両日とも約40名の方々が集まり、農道の草刈りや、水路清掃等を行いました。

本事業を実施したことに伴い、集落間の連携がより一層強化され、さらに農地の保全活動を行うことによって、耕作放棄地の発生防止の効果も期待できます。

小規模・高齢化支援モデル事業は、今年度及び来年度の2年間のみの事業ですが、事業を実施した戸赤地区でも「来年度は対象となる面積を増やして積極的に取り組みたい。」等の要望も出ています。

小規模高齢化集落支援モデル事業について詳細は、南会津農林事務所農業振興普及部農業振興課までお問い合わせ下さい。 TEL 0241-62-5253

(農業振興普及部)



作業前の排水溝周辺

直売所紹介

緑風爽やかな高原の里「十文字夢街道」

道289号甲子道路開通で賑わっている下郷町十文字地区の「十文字夢街道」は、観音沼森林公園の近く、夏でも涼しい800mの高原に位置し、地域を活性化したいと考えた有志の方々が、地元の高原野菜を中心に販売を始めました。

主力商品はもちろん高原野菜!! 高原に特有な気温の日較差利用した野菜はお客様からも好評を得ています。また、福島県ブランド認証産品である会津地鶏や、アローカナ鶏の卵も販売しています。卵の殻が青く黄身が大きいアローカナ鶏はなかなかお目にかかれない一品ではないでしょうか。

(企画部・農業振興普及部)



主な商品等

農産物: 高原野菜、会津地鶏の卵
アローカナ鶏の卵、そば粉

加工品: タケノコの水煮

営業時間: 7月～11月 毎週土日 10時～16時

住所: 南会津郡下郷町大字音金字十文字

アクセス: 国道121号から観音沼方面へ車で10分

今月のコラム

晴耕雨読

憧れの退職後の生活。団塊の世代が思いを馳せる「晴耕雨読」の生活。その受け入れのため、南会津郡下郷町で滞在型市民農園のクライנגルテンを整備することとなった。貸し出し別荘のような休憩施設が付いている。

場所は、9月21日に開通した国道289号甲子トンネルを出た下郷町鶴ヶ池地区で、そば畑の写真撮影スポットで最近有名になっている猿楽台地の近くである。高原の中での悠々自適での野菜づくり、22年度に整備して貸し出すそうだ。

私も家庭菜園を楽しんでいるが、初心者が長続きするために、私なりに考えたことをあげてみると、以下のとおりである。

1つ目は、「最初から大きな面積で作らない」こと。家族構成にもよるが、2、3人の家族ならば、2、3坪で十分であると思う。面積が多いと大概の人は草むしりががっかりしてしまう。

2つ目は、「いろいろな種類を少しづつ作る」こと。

作り方は書店にいろいろマニュアル本が出ている。またネットでも検索出来る。

3つ目は、「土づくりを大切に」こと。野菜が育つにはやはり、堆肥を十分に投入すること。堆肥が十分であると、病気や虫にも負けないで、無農薬でも野菜が育つ。さらに付け加えると、大根や枝豆などは種をまいて育てても簡単に芽が出て育つが、きゅうり、なす、トマトなどは苗木を購入して、植え付けるのが簡単である。

さて、私のもう一つの趣味に読書がある。私の場合は時代小説のみである。

私は時代小説を読む時、野菜づくり同様こだわりを少し持っている。書店で買い求めた江戸の地図を広げ、町並みを空想しながら読み進むのを楽しみにしているのである。したがって、時代考証がデタラメなもの、また、町名、武家屋敷、寺院等が実在のとおり書いていないものは、途中で読むのを止めてしまうのだ。

退職後の生活を思い描きながら、晴耕雨読に憧れるこの頃である。

次長兼総務部長 飯野 雄太郎

農林事務所からお知らせ

食彩ふくしま地産地消推進店の認定について

福島県の豊富な農林水産物を多くの方に知っていただくとともに、実際にお店で食べていただくことにより、消費拡大につなげることを目的とした「食彩ふくしま地産地消推進店」を募集しましたところ、県全体で多数の応募があり、当南会津管内においても6店舗認定されました。認定されたお店は以下のとおりです。

店舗名	住所	電話	FAX
農家れすとらん 蕎屋	下郷町大字中妻	(0241) 67-3522	同左
会津猿楽そば	下郷町大字落合	(0241) 67-2311	同左
季の郷 湯ら里	只見町大字長浜	(0241) 84-2888	(0241) 84-2275
只見町歳時記会館	只見町大字只見	(0241) 82-2221	同左
名代 菊水	南会津町水石	(0241) 78-2688	同左
柏 屋	南会津町田島	(0241) 62-0348	同左



パンフレットがございますので、詳しい内容はこちらをご覧ください。

<http://www.pref.fukushima.jp/an-ryu/20suishinten/20suishinten-2.htm> (県農産物流通課HP)

このパンフレットには、管外の認定店舗も掲載されております。

お近くにお寄りの際は、是非、足を運んでみてはいかがでしょうか？

(農業振興普及部)



お問い合わせ先はこちら

〒967-0004

福島県南会津郡南会津町田島字根小屋甲4277-1

福島県南会津農林事務所 企画部 地域農林企画課

電話 0241-62-5252 FAX 0241-62-5256

電子メール minamiaizu.nourin@pref.fukushima.jp

ホームページ <http://www.pref.fukushima.jp/norin-minamiaidu/>



ふくしま食と農の絆づくり運動

みなさんのご意見・ご感想を
お寄せください。



この広報誌は
SOY(大豆油)インキを
使用しています。